

6年「租税教室」を実施 ～租税教育推進委員会から講師をお招きして～



テキストを読みながら講師の説明を聞く6年生

18日(火)に6年生の「租税教室」を実施しました。本教室は、社会科「税金の働き」の授業の一環として位置づけています。

今回、租税教育推進協議会から派遣していただいた講師は、大島会計事務所の税理士さんです。北小学区内の地元の専門家に子どもたちの指導をしていただけるのは、地域連携・地域人材の活用という視点からもたいへん有意義なことです。

租税教室では、はじめに「マリンとヤマトの不思議な日曜日」というタイトルのDVDを視聴

しました。税金がまったく無くなってしまった不便な世の中の状況から、本来は生活の様々な場面で税金が使われていることを知り、その大切さを学べるアニメです。

講師の方は、租税教育テキスト「税金ってなあ～に」を活用しながら、税の仕組みや種類をわかりやすく説明してくださいました。子どもたちは、支払った消費税が納められていく仕組みを学んだり、税金がコロナウイルス対策にも使われていることを聞いたりして、身近なところに税金の存在があることに気づくことができました。

授業の終わりに、「世界の消費税156か国」のA4クリアファイルと「国の財政と消費税の役割」のリーフレットをいただいたので、ぜひ自主勉強などで学びを広げてみてください。



講師

雨の日は遊びや生活を工夫して、休み時間を安全に過ごそう

5月中旬だというのに、早くも梅雨入りをした地方があり、季節感が少しずつずれてきているような感覚になります。今週は関東地方でも降雨が多く、肌寒さも感じられます。

普段、校庭で鬼遊びをしたり、ジャングルジムや土管、埋め込みタイヤなどの固定遊具で遊んだりして休み時間を過ごしている子どもたちも、雨が降ると室内での遊びを余儀なくされ、事故やけががないように工夫して生活をしています。廊下を走ったり教室内で鬼遊びをしている子がいても、子ども同士で注意し合える関係があり、自治的な姿勢が素晴らしいです。これからも、健康で安全に雨の日の休み時間を過ごしてほしいと思います。



3年生は「1年生を迎える会」の準備に取り組んでいました。

当日は天気が回復してほしいですね。

1年生は粘土遊びに興じていました。

6年生と一緒に遊んでやっていて、たいへん微笑ましい場面でした。



図書室のソファーも人気のスペース。落ち着いた雰囲気の中で、ゆったりと読書するのもいいですね。